

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	総務部ISO・防災担当	直通電話	72-3190	事業コード	201080102	課内	1	作成日	平成15年8月11日
	担当者		葛西 正		担当課長	吉田 宏和		担当部長	白井 俊

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	ISO認証取得及び維持管理	開始年度	H13	終了年度	未定								
		最近の事業内容見直し年度											
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th>大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>2010801</td> <td>快適環境の創造 / その他</td> </tr> <tr> <td>2010301</td> <td>快適環境の創造 / 自然保護意識・環境美化意識の高揚</td> </tr> <tr> <td>2050103</td> <td>環境衛生の充実 / ゴミ処理の充実 / ゴミの減量化・リサイクルの推進</td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	2010801	快適環境の創造 / その他	2010301	快適環境の創造 / 自然保護意識・環境美化意識の高揚	2050103	環境衛生の充実 / ゴミ処理の充実 / ゴミの減量化・リサイクルの推進
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
2010801	快適環境の創造 / その他												
2010301	快適環境の創造 / 自然保護意識・環境美化意識の高揚												
2050103	環境衛生の充実 / ゴミ処理の充実 / ゴミの減量化・リサイクルの推進												
3) 個別計画での位置付け	石狩市環境基本条例、石狩市環境基本計画(平成12年)												

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	石狩市環境基本条例および石狩市環境基本計画に基づいた環境保全、環境負荷低減
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市役所で使用するエネルギー、排出されるごみなどを削減し、環境負荷の継続的な低減を図るとともに、職員があらゆる事務活動において環境にやさしい行動が定着するよう教育訓練を行い、職員の環境意識の向上を図る。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	ISO14001規格の要求事項に適合した石狩市環境マネジメントシステムを策定し、市役所で使用するエネルギーや排出されるごみ等の環境に与える影響等を調査して、それらについて目的・目標を設定し、環境負荷の低減等の具体的な取組み内容を定めて実施していく。なお、石狩市ホームページ及び広報などでISO14001の取組み状況について周知している。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	省エネルギー・省資源を実施するため、目標値を設定して電力使用量・水道使用量・ガス使用量・紙の使用量・ゴミの排出量・ガソリン使用量等の削減に取り組んだ。
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	近年、地球的規模の環境保全が唱えられており、石狩市議会においてもISO14001導入についての質問がなされた。また、他の公共団体や企業は環境に対する関心が高く、ISO14001の導入が年々増加している。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	なし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	0	3,521	1,732	1,041	ISO審査機関審査料(委託料)	1,160
2) その他の間接経費(千円)		487	376		ISO取得記念講演講師謝金(報償費)	280
3) 従事正職員の人件費(千円)		8,289	6,176		内部環境監査員養成セミナー等(諸会議負担金)	292
総事業費(1~3の合計;千円)		12,297	8,284		H14主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)		12,297	8,284		金額(千円)	
市民一人当たり一般財源使用額(円)		221	148			
事務に従事した正職員のべ人数		1.00人	0.75人			

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
環境管理内部監査実施回数(回)	目標値			1	監査結果の処理区分は(1)適合している。(2)不適合。(重大な不適合 軽微な不適合 検討事項 指導事項)があり、不適合がある場合は直ちに是正する必要がある。
	実績値			1	
	達成率			100.0%	
ISO定期審査実施回数(回)	目標値			1	定期監査結果の指摘の区分は(1)重大な不適合(2)軽微な不適合(3)リマークがあり、重大な不適合がある場合は定期審査をパスすることはできない。
	実績値			1	
	達成率			100.0%	
ISO研修実施回数(回)	目標値		1	1	環境教育の区分としては(1)環境管理推進員研修(2)一般職員研修(3)新規採用職員研修(4)特定業務従事者研修があり、それぞれ必要に応じて年1回以上実施しなければならない。
	実績値		1	1	
	達成率		100.0%	100.0%	

## 5 事業の成果

事業名: ISO認証取得及び維持管理

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
電気使用量削減率 (%)	目標値			10.0	12.0	目標値は、平成12年度に比べた使用量削減率 (%)	ISO事務局記録簿
	実績値			13.2	目標レベル		
	達成率			132.0%			
	最終目標						
ごみ発生量削減率 (%)	目標値			63.0	65.0	目標値は、平成12年度に比べたごみ発生量削減率 (%)	ISO事務局記録簿
	実績値			45.1	目標レベル		
	達成率			71.6%			
	最終目標	年度に					
使用済み用紙のリサイクルボックス収集(人)	目標値			376	376	目標値は、全職員。実績値は、各自の取組み内容を環境管理日誌(評価A~D)の内A(よくできた)を記入した職員。	14年度環境管理日誌集計表
	実績値			328	目標レベル		
	達成率			87.2%			
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	すべての課において環境管理内部監査を行ったところ、不適合が4件あったが他はすべて適合していた。ISO定期審査は、ISO14001認証団体である高圧ガス保安協会が行うが、審査の結果適正であると判断された。職員研修は、年1回実施することとしているが、14年度は全課において実施し、各課長からは受講した職員全員がシステムを理解した旨の報告を受けた。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	石狩市におけるシステムでは、電気使用量など9項目について削減の目標値を設定しているが、そのうち6項目について目標達成がなされたが、紙の使用量削減、ごみ排出量の削減、ガソリン等使用量の削減の3項目は目標達成できなかった。ただし、紙とごみが目標達成できなかったのは目標値が高すぎたためであり全体としては環境負荷の低減に効果があったものとする。また、経費では1000万円の削減がなされた。環境管理日誌の記載状況から、A76.8%、B18.7%、C3.7%、D0.8%であり、目標値の達成状況からも一定の効果があったものとする。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	市役所における環境保全は、市自ら実施する必要がある。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	環境負荷の低減のためには、ISO14001認証取得事業は適当であるとする。しかし、環境日誌類のシステムの文書管理に若干手間がかかることから、簡素化を進める必要がある。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評定の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	一部目標に到達できない項目があり、また、職員の環境意識についても環境管理日誌はすべてAランクでないことから一部問題はありますが全体としては良好であると判断する。		課長評価を了承する。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	今後は他の公共施設にもその範囲を広げて、環境保全を進めていくこととする。
最終評価	課長評価を了承する。

## 9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合 休・廃止		
上についての説明	事務の簡素化を図る。		